

アワプラジオ通信【2014年10月号】

■発行元 アワプラジオ クリエイティブ ■102-0084 東京都千代田区二番町 5-2 麹町駅プラザ 901

■E-Mail: awapuradio@gmail.com ■TEL: 03-6868-5129 ■Web: <http://awapuradio.com/>

少年の頃からの思いが今も続いている

ライブハウス『下北沢ロフト』オーナー 長沢幹夫さんに聞く



1958年福島県生まれ。79年～83年まで『新宿LOFT』店长。85年、店长を務めていた『下北沢ロフト』の経営を引き継いでオーナーとなる。フライフィッシングの名人としても知られ、釣り雑誌の記事の連載なども担当した。

—フォークシンガーをめざして上京して、『新宿LOFT』に入られたそうですね。

歌手が集まる現場に居ればいろんなものを吸収できるし、何かの近道でもあるかなと考えて潜り込んだんですよ(笑)。ロフトグループの歴史をひも解くとよくわかるけれど、それまでであった西荻(西荻窪)、荻窪、下北(下北沢)といった店が喫茶店や飲み屋の片隅でライブができるというイメージだったんですけど、新宿LOFTってライブをメインにつくった店だった。僕はその年の終わりに入りました。

当時は新宿LOFTが夢っていうのか、「最初のワンステップはLOFTで」というバンドが多かったね。

—あの石橋凌さんから明け方にかかってきた電話のことなどがある記事で読んだことがあります。

懐かしいね。朝の4時だよ(笑)! 電話がかかってきてセッションやろうぜって言って。連れてくるメンバーが桑田(佳祐)さんだからね。鮎川(誠)さんにシーナに。もう大変だよ。僕がやっていた頃は面白かったですね。毎晩のように飲んでいたので、みんな(笑)。

—そんなエピソードの一つ、「長沢店长と氷室(京介)の乱闘事件」について教えてください。

内容を明かすと事件というほどたいしたことではなくてね。当時(雑誌の)『宝島』とかにでっかく載っちゃったので伝説みたいになっていますけど。BOOWY(正確には中央の0の表記は0)が毎月一回ある新宿LOFTの新人DAYのゲストに決まっています。新人バンドのリハーサルの時間が押していて、彼らはずっと待っていたんですよ。そうしたら氷室君が「俺たちいつまで待ってりゃいいんだい」みたいな感じになってきたから、「いいからもうちょっと待ってけや」って。俺も若かったからね。そうしたら「オマエ誰だ?」ということになって、「俺はこの店长だ」って。ちょっとピリッとしたムードになったら体の大きな布袋(寅泰)君が「まあまあ」って(仲裁に入って)。彼はやさしいんでね。そんなところにドラムの高橋まことさんがやって来て。

そのときに「あれ、まこっちゃん?」「あれ、幹夫?」って。高橋まことさんって同郷で偶然にもうちの兄貴の同級生で。福島で昔からバンドをやっていたから、「あれ、まこっちゃん何してんの?」と福島弁で言うわけです。そうしたらまこことさんが(ドラムを叩く仕草で)「俺、今日 BOOWY、BOWWY」って。それで一気に場は和みましたね。まこっちゃんに救われたというのはあるんですけど。(当時の雑誌などには)「殴り合い!」とまで書かれていたからね。確かに一瞬だけピリッとしたムードにはなったけれど全然(笑)。

—その後、下北沢ロフトへ移られました。

新宿が成功していた反面、下北沢はライブも当時はほとんどやらず、バー営業だけでまわしていました。それでちょっと落ち込んでいるから、おまえ行ってなんとかしてこい!みたいな感じで。でも1年

半くらいやってもやっぱり良くならなくて。それでオーナーが下北は閉めるから新宿に戻れと。でも当時の新宿 LOFT でやっている音楽（ハードコア・パンク）がすごく嫌で（笑）。戻りたくないと言ったら「じゃあおまえ、ここを買え」って。そういう経緯で僕は『下北沢ロフト』を継いだんですよ。

当時の下北沢はどっちかというとなんか音楽より演劇の街だったので。下北沢ロフトができて音楽が少しずつ広がっていったというのは間違いないと思うね。

—30 年の間でのミュージシャンの気質の変化とライブハウス経営の長持ちの秘訣をお願いします。

お客さんも出演者もケンカしなくなったね（笑）。ブルースの人もハードロックの人も音楽の話になるとみんな熱くなって、飲んでいてもすぐにぶつかるんだよね。いろんな時代を見てきたから何か物足りなさも感じなくはないけれど、（最近の若いミュージシャンも）やっていることはちゃんとメッセージ性があるし、ステージに対する姿勢は全然悪いとは思わないのでこれは時代なのかなって思っていますね。

僕は商売がヘタなので、あんまり広げなかったことがよかったのかなあ（笑）。どんどん投資して店舗を増やすなり、設備をよくするなりっていろいろなお金の使い方があってと思うけど。なるべく現状維持でやってきたのが継続のコツかもしれない（大笑）。その代わり大きくは儲けられないけどね。

—ライブハウスの仕事とその良さについて聞かせてください。

うちの場合は僕がブッキング（出演者への依頼やスケジュールの調整）、PA（音響）、機材のチェックまで全部やっています。

僕ね、高校のときに文化祭の催しで教室をライブハウスにしたんですよ。高校の頃からライブハウスって夢だったと思うんですね。中学からギターを弾いていて音楽が好きで。でもそんなに才能もないしみたいなことを自分でも思っていて。ただ音楽に携わっていたいというのはずっとあったんだと思うね。教室をライブハウスにしたことがすごく楽しかった。その思いがずっと今も続いているんじゃないかな。

場を提供する側としては、その日一日をいかに楽しい日にするかっていうことばかり考えているから。それはお店のあり方だと思っています。このことはアーティストもお客さんも一緒だと思うけど。

—仕事に悩む若い人へメッセージをお願いします。

好きなことをやるって大変だね。（継続するためには）嫌なことのほうが多いから。だからやめたらダメだよ。同じ場所にしがみついていたら結果がよいかといえばそれはまた別だけどね。その辺の見極めは自分でやるしかないところだから。こっちから見ればすぐにやめちゃったと思うことでも、当人にすればここは違うからってやめたってということならね。これはそれぞれの人生だからなんともね。

「今頃の若い者は！」って思うことはあるけど、人生はその人のものだからなあ。この質問は難しいよ（笑）！

※この記事の基となった番組音声はこちら

『生業の匠』 <http://youtu.be/SZKT5ub26N8>

コラム「色即是空」／阿部美知子

私と読書

読書は私の趣味の一つです。幼い頃は『小公子』や『小公女』そして『幸福の王子』等の絵本をたくさん読んだ記憶があります。高校生のときには文学少女ぶって太宰治、芥川龍之介に夢中になったものです。今では、東野圭吾や横山秀夫の作品をよく読んでいます。

今まで繰り返し読んだ作品が2作あります。一つは北杜夫の『楡家の人びと』。これは明治生まれの楡脳病院の院長である楡基一郎とその家族、使用人、患者の波乱万丈の物語です。もう一冊は水上勉の『飢餓海峡』。これは昭和20年に起きたあの悲惨な海難事故、洞爺丸沈没事件を題材とした作品です。

ここのところ警察物や医者物を乱読していたのですが、最近になって久しぶりに純文学の作品を手にしました。文化勲章を受章した井上靖の「遠い海」です。新しい愛の出

発と古い愛の再確認とを生み出す人間の不可思議な営為を描いた作品です。

その中の描写のあまりの美しさに感嘆しました。「～英子は自分と幹史三郎との関係に気付いたのである。その関係は月光に照らされた氷河の一部のようなものにして、はっきりと英子の臉に写ってきたのであった。氷河の表面はほうろく質の様につるつるしており月の光に冷たく青く濡れている。そこには暖かさというものは微塵もない」。さすが昭和を代表する大作家の作品だと思います。

1948年、愛知県でフランス人の父と日本人の母との間に生まれる。亡き夫から引き継いだ飲食店をたたんだ後の97年頃からうつ病を患い、現在は障害者手帳を持つ。東野圭吾や横山秀夫などのミステリー小説を読むのが趣味。阪神タイガースのファン。山口県内の福祉施設で生活している。

番組・イベント情報

■東京ラブレター（毎週木曜日・21：00～21：30）

首都圏で活動するNPOやNGO、市民グループや個人の方を紹介する番組です。

●10月のオンエア【2日、9日、16日、23日、30日】

「東京からふるさとを応援する活動—合唱曲『この街の夢～岐阜市へ～』が完成」

勝手に岐阜県応援企画「にゃんぼぼ」公式サイト

主宰 吉田了介さんに聞く

ナビゲーター:あべこう一、高木祥衣(OurPlanet-TV)

●番組の聴き方

「サイマルラジオ」(<http://www.simulradio.jp/>)にアクセス→「近畿」から「FMわいわい」を選択

スマホからはアプリ「TuneIn Radio」をダウンロード。

「FMわいわい」を選択してお聴きください。

●東京ラブレターのページ（過去の放送が聴けます）

<http://awapuradio.com/awapuradio/tokyoletter/>

●今月のエンディング曲 『歩こ／羽原朱香』

■番組アップロード情報

●第1回「生業の匠」（インタビュアー あべこう一）

長く一つの仕事に携わってこられた方から仕事や人生についてお話をうかがう番組。

ライブハウス『下北沢ロフト』オーナー

長沢幹夫さんに聞く

音声はこちら <http://youtu.be/SZKT5ub26N8>

■9/28に第2回「大人の社会見学」を開催します。

アプラジオがコーディネートするゆるやかな出会いの場『大人の社会見学』。第2回は豊洲の『ガスの科学館』を見学した後、おとなりの豊洲公園で茶菓子をつまみながら交流タイム。公園ではラジオの収録体験も行い、その模様は後日ウェブにアップします。自然エネルギーと青空の力をかりて素敵な出会いをみつけよう！こういったイベントがはじめてだという方でも気楽にご参加ください。

開催日：2014年9月28日（日）

集合：13時30分に有楽町線「豊洲駅」7番出口前

内容：がすてなーに ガスの科学館見学～豊洲公園で交流&ラジオ体験収録

参加費：3000円

●詳細はこちら <http://awapuradio.com/excursion/>

※第3回は10月19日（日）に開催します。（詳細未定）

■あべこう一コンサート情報

●10月10日（金）下北沢ロフト（東京）

※小田急線・京王井の頭線「下北沢駅」南口5分

【開場】18：30【開演】19：00

【チャージ】2000円（ワンドリンク付）

【出演】宮崎肇 加藤ヒロ あべこう一

●申し込み・問い合わせ

awapuradio@gmail.com 03-6868-5129



大人の社会見学
申し込みフォーム



あべこう一コンサート
申し込みフォーム

●2014.11.8（土）東京行灯祭（東京・中野）

場所：川島商店街「路上ステージ」

（地下鉄「中野新橋駅」8分）

※イベントは夕方から。詳細未定

●2014.11.9（日）板橋わいわい祭り（東京・板橋）

場所：板橋区平和公園（東武東上線「上板橋駅」5分）

※イベントは10：00から。詳細未定

■パーソナリティ西澤尚美の企画『なおみん & みお / Urara & まさるのハッピーワールド』vol.3

おなじみ脳の体操や演劇の手法を使ったゲームで楽しくコミュニケーション力や表現力、発想力を磨く『表現ワーク』と身体をゆるめて本来の自分らしい輝きを取り戻す『和みのヨーガ』のワークショップ。今回はプラネタリウム上映と水晶でできたヒーリング効果の高い楽器『クリスタルボウル』の演奏会とのコラボレーションです。気軽にご参加ください。

日時：10月11日（土）13:30～17:00(13:15～受付)

場所：桜新町おうちサロン（東京）※参加決定後会場の詳細をご連絡します。終了後に懇親会あり。

（東急田園都市線「桜新町」駅、東急世田谷線「上町」駅10分）

参加費：3000円（ドリンク・お菓子付き）

持ち物：ヨガマットまたはバスタオル、動きやすい服装

講師：西澤尚美（表現ワーク）

宮ノ原美緒（和みのヨーガ）

クリスタルボウル演奏：浦川裕子

プラネタリウム上映：高橋勝

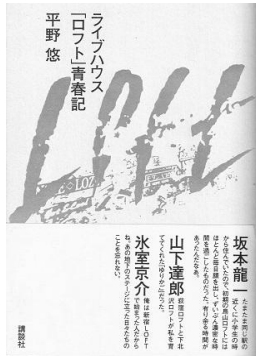
連絡先：happynaouest@yahoo.co.jp（西澤尚美）

●詳細 <http://ameblo.jp/urupika/>

本の紹介

ライブハウス「ロフト」青春記 (2012年6月)

平野 悠 著・講談社・1600円(税別)



1980年代の終わりから90年代の初めにかけて、田舎の町に住む中学生だった筆者にとって東京は本当に遠い場所だった。ケータイもネットも普及していなかった時代。ラジオから聴こえてくるロックや音楽雑誌の中の“東京”に心をときめかせ想像をめぐらせた。

本書に登場するライブハウス『新宿 LOFT』を中心に繰り広げられた風景は、ま

さにその田舎の中学生が思い描いた東京だった。著者が東京郊外の千歳烏山にオープンした店から始まったロフトグループの歩みがロックの歴史のある重要な一面を体現していたということが、本書からひしひしと伝わってくる。

出版から2年が経過した本書だが、日本のロック・サブカルチャー好きにはおすすめの一冊である。(阿部浩一)

PR情報

■出版企画プロジェクトを始めました

どんなビジネスや活動を展開する上でも、「著書がある」ということは信頼につながります。あなたの知識や経験を出版企画書にまとめて、出版社への提案をあなたに代わって行います。

●詳細はこちら

<http://awapuradio.com/2014/09/16/140916book/>

■イベント企画・運営のアワプラジオ

アワプラジオでは各種イベントの企画・運営を行っています。講演を開催してご自分の著書を販売したい方、地域のお祭りでライブイベントをやりたい主催者の方など、まずはお気軽にご相談ください。

●詳細はこちら

<http://awapuradio.com/plan/project/>

■「アワプラジオのメールマガジン」を発行しています。

購読は無料。ぜひ登録をよろしくお願いします。

●登録はこちらから

(「アワプラジオのメールマガジン」で検索)

<http://www.mag2.com/m/0001627648.html>

ファンクラブ “Oasis” 会員募集

■アワプラジオとあべこうーの活動を支えるサポーターになってください。

【入会金 0円 年会費 4200円(税込)】

●会員有効期限

ご入金をされた日が入会日となります。ご入会日の月末から12ヵ月後までが有効期限となります。

●会員特典

- ・アワプラジオ通信(毎月)の発送
- ・Eメール等での情報配信
- ・ファンクラブイベントへの参加(抽選とさせていただきます場合がございます)
- ・無償あるいは安価での会員様の活動紹介等の番組やPR音声の制作(ご相談ください)

●入会方法

所定の申し込み用紙(お送りします)、またはウェブサイト上のお申込フォーム(上記QRコード)に必要事項をご記入ください。年会費は下記のいずれかの口座にお振込いただけますようお願い申し上げます。

■郵便振替・銀行振込で寄付する(みなさまの温かいご支援を下記の口座までよろしくお願いいたします)。

【郵便振替】

郵便振替口座 15530-3969671
名義 阿部浩一

【銀行振込】

中央労働金庫 本店営業部
普通 3113628
名義 アワプラジオ 事務局長 阿部浩一

三菱東京UFJ銀行 インターネット支店
普通 3772395

名義 阿部浩一



編集後記

6年ぶりくらいに歯医者へ通っています。歯が1ヵ所欠けてしまったことと歯茎からの出血がきっかけでした。欠けた歯は虫歯だと予想がついていましたが、歯茎の出血のほうは歯石が原因であることがわかりました。痛みなどの自覚症状がないときでも、日頃からの歯のメンテナンスが大切だということを痛感しました。

ところが検診を受けて、欠けた歯とは別の場所に大きな

虫歯があることもわかりました。いつ痛み出してもおかしくないという歯の拡大写真を見ると真っ黒。欠けた歯もそうでしたが、虫歯は静かに進行してとなりの歯にまで浸食していくものです。

私たちの国と社会も同じ。秘密保護法に集団的自衛権の行使容認、原発の再稼働。痛み始めたときにはもう手遅れ、なんてことにならないようにしなければ。(阿部浩一)